

医療連携だより

ごあいさつ

病院事業管理者 岩村正明

豪雪のこの冬、青森の友人とのメール交換で八甲田山の話題となり脳裏に浮かんだのは県内の新任係長研修でのテキスト新田次郎著「八甲田山死の彷徨」です。研修前に読んで参加し夜を徹して討論するものでした。弘前連隊は無事に計画を遂行し、青森連隊は199名の死者が出た遭難事件を気象学者で登山家の作者が事実をもとに書いたもので映画（出演：高倉健、北大路欣也）にもなりました。リーダーの事前情報収集と準備及び刻々と変化する状況に応じた判断がいかに大切かを教えてくれました。亡くなられた兵隊は岩手県北出身の方が多く、当時盛岡中学生だった石川啄木が犠牲者とその家族に義援金募集をしました。私は、その研修の数年後、紅葉狩で薦温泉に宿泊し、終戦の日に父が青森連隊から退職金のように頂戴したスキーを暑い夏に担いで実家に持ち帰り、じっと見つめる姿を思い出します。作者のご子息は数学者藤原正彦氏で「国家の品格」等で有名な作家でもあります。



八甲田山のことから医療・介護・福祉においても情報を組織で共有化し、関係機関とのネットワークで最善を尽くすことが重要と思いました。



クリニックの先生が当院で手術やリハビリをしたり、オープン病床的な活用もしております。クリニックの先生と病院医師の連携が多くなることを期待しております。お困りのことがありましたら連携室にご連絡ください。この「連携だより」による連携強化は診療報酬とも密接に関係していることから、皆さんとの交流が活発になることを望みます。

＜奥州市総合水沢病院基本理念＞ 「市民に身近な医療を提供する病院」「健全を基盤に活力のある病院」

【方針】 「市民と職員との心の通い合う医療を目指して」

1. 患者様最優先の医療サービスを志します
2. 市民の健康を増進する医療サービスに努めます
3. 最善かつ負担の少ない医療を提供します
4. 医療水準の向上に努め、安心安全を提供します
5. 地域の各医療・保健・福祉機関等と連携します



当院の感染対策について紹介します

当院は第2種感染症指定医療機関です。昨年度より、新型コロナウイルス感染症に対応すべく、感染対策をおこなっております。

令和2年2月13日より令和3年2月15日現在まで、PCR検査274件（県PCR、民間PCR、ビジネス渡航陰性証明等）、抗原検査98件を行いました。発熱患者さんへの対応も、一般の患者さんと交錯しないよう空間を分けて感染対策をし、対応しております。

「発熱したがどうしたらいいかわからない。」「感染流行地域から帰ってきたが不安だ。」等あらゆる電話相談にも対応しております。ご心配な事がありましたら、お電話ください。

TEL 0197-25-3833(代表)

相談受付時間 8:30～15:00

ディープフリーザーを設置しました

2月「基本型接種施設」である当院へディープフリーザーが設置されました。現在のところ、胆江圏域では当院のみの設置です。

「基本型接種施設」とは、自らの施設にフリーザーを設置し、自院の医療従事者にワクチンを接種することが出来るほか、フリーザー内のワクチンを管理し、連携型接種施設が行う接種のために、ワクチンの払出し等を行う施設をいいます。

マイナス79度に
設定しています



○発熱外来について

発熱している方が受診なさる場合、発熱外来で診察を行います。ご紹介いただく際は、予め上記時間内に発熱外来担当者へご連絡ください。

当院到着後は患者様ご家族より当院へご連絡いただき、担当者が迎えに伺うまで車内など院外でお待ちいただいております。お手数をお掛けいたしますが、ご協力をお願い申し上げます。



入院前支援について

予定入院の患者様に入院前支援を行っています

-医療連携室-

患者様が入院に際し安心して入院生活を送ることが出来、無事に退院出来るように、看護師が以下の項目について確認し支援しています。面談時間はおよそ30分～1時間です。



- ・入院生活の説明
- ・身体的、社会的、精神的背景を含めた情報の把握
- ・クリティカルパスを用いての治療経過の説明
- ・服薬中の薬剤を確認し、中止薬がある場合は事前に電話連絡しています
- ・リスクアセスメント（転倒転落 褥瘡 認知症 栄養状態等）
- ・退院困難な要件の有無の評価
- ・不安なこと、心配なこと



確認させていただいた情報で薬剤科、栄養科と連携をとりながら行っています。そして入院前に病棟看護師・MSWと情報共有し、退院支援につなげています。昨年より入院前支援を行った患者様にアンケートを実施しており、安心できた、まあまあ安心できたという回答を8割以上いただいています。今後もアンケートの結果を活かし、安心して入院医療をうけられるように、よりよい支援を目指していきます。

入院セット、紙おむつセットのご案内

当院では、快適に療養していただけるよう、入院セットと紙おむつセットをご利用いただけるようになりました。

入院セットは、Aセット（患者衣とタオル類）は日額税込み450円、Bセット（タオル類）は日額税込み350円です。入院セットご利用の方は、歯ブラシやシャンプー、ボディソープ、ペットボトルストローなどの日用品もあわせてご利用いただくことができます。

紙おむつセットは日額550円（税込）で、オムツ、パッド、おしり拭きの利用が可能です。

急な入院にも対応可能ですので、お一人暮らしの方やご家族などの負担軽減にもなります。

お申込み、お支払いは当院1階売店へお願いいたします。



●おねがい

- ・当院へ患者様をご紹介いただく際は、患者様がスムーズに診療を受けていただくことができるよう、FAXによる診療申込でのご予約をお願いいたします。
- ・当日の患者紹介につきましては、直接診療科の医師に電話でご連絡いただいた後に、診療申込書、診療情報提供書等をFAXにてお送りいただきますようお願いいたします。

●新型コロナウイルス感染症に伴う大切なお知らせ

新型コロナウイルス感染症から皆様をお守りするため、以下のことにご協力ください。

- ・次の症状での受診の場合は直接来院せず、必ず電話でお問い合わせの上、平日の8:30～15:00までの受付をお願いいたします。
→発熱等の風邪症状、強いだるさ(倦怠感)、息苦しさ(呼吸困難)、嗅覚・味覚障害
- ・来院する際は必ずマスクの着用をお願いいたします。
- ・受診以外の来院はお控えください。
- ・原則、ご家族であっても面会を禁止しております。

安心して受診していただくために…

患者の皆様安心して受診いただけるよう、感染防止対策を行っております。

- ・受診されるすべての患者さんに、受付の際(出入口)検温を実施しております。
- ・発熱患者さんには新型コロナウイルス感染を考慮して、適切なトリアージ(選別)を行い、発熱者用の外来にて診察を行っております。
- ・すべての来院者に、病院に入る前にマスクの着用をお願いしております。
- ・すべての来院者に、病院入口で手指消毒をお願いしております。
- ・入院患者さんに対しまして、面会禁止、付添い制限を行っております。
- ・院内の高頻度接触面の清掃消毒を強化しております。
- ・全職員は出勤前後に検温と体調確認を行い、有症状のある場合は勤務を停止致します。

院内で感染を防止するため、皆様にはご不便をお掛けしますが、引き続きご協力のほど、宜しくお願い申し上げます。



正面玄関での検温



高頻度接触面を都度消毒

奥州市総合水沢病院 医療連携室

〒023-0053

岩手県奥州市水沢大手町三丁目1番地

電話 0197-25-3833 (代表/内線257)

FAX 0197-25-4012 (医療連携室直通)

URL <http://www.mizhsp-iwate.jp>



奥州水沢の「くくり雛」